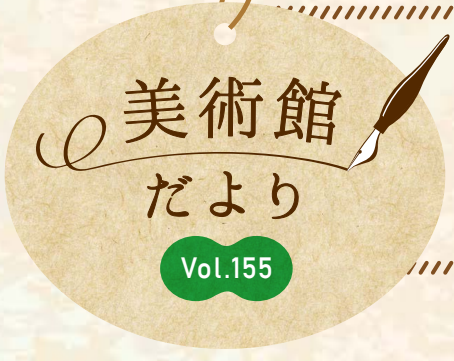


2・3階展示室



# ボクのスタジオ 植田正治の砂丘

2021年 7月17日(土) — 11月29日(月)

「砂丘は巨大な Horizont だ。」——これは植田正治が生前、しばしば口にしていた言葉です。Horizont は、スタジオ撮影でプロのカメラマンが使用する背景のことを指します。戦前から植田は、近所の弓ヶ浜で、また戦後間もなく鳥取砂丘で後に代表作となる作品の数々を撮影し、その後もたびたび砂浜や砂丘で撮影を重ねています。海や空や雲と同様に、この「巨大な Horizont」は植田の写真にとって重要な要素であり、同時に、自由に表現や空想の羽を広げ、羽ばたくことのできた貴重な「場」、まさに「ボクのスタジオ」であったのでしょう。

この“スタジオ”を舞台にした植田の演出写真が注目されたのは、1949年に弓ヶ浜で撮影された一連の家族写真であり、それに続く鳥取砂丘での群像演出写真でした。その後、リアリズム写真の台頭により、全く別の表現の模索を続け、1980年代はじめ、ファッション写真のジャンルで、再び「天然のスタジオ」鳥取砂丘で演出写真を展開するのです。それぞれに全く異なる意図で撮影された写真ですが、植田の個性と遊び心に満ちた植田らしい作品の数々です。非日常的な空間、遠近感の喪失など、この“スタジオ”でしか創作できないイメージの特質が植田のスタイルの個性を際立たせていると言っても過言ではないでしょう。

今回の展覧会では、あらためて植田の「砂丘」や「砂浜」に注目し、代表作を中心に、1950年代に多く見られる「砂丘」の表情や造形に着目した作品、さらにはシリーズ〈小さい伝記〉や〈風景の光景〉の中にも登場する「砂浜」もあわせて紹介します。時代や表現意図も異なる様々な作品を通して、植田にとっての「砂丘」や「砂浜」の意味をあらためて考える良い機会となることでしょう。



## 【同時開催】1階D展示室 コレクション紹介

### 植田正治物語 — 写真するボク — 2021年 7月17日(土) — 9月13日(月)

植田正治の生涯にわたる写真活動の軌跡を紹介しています。ぜひご覧ください。

#### 第22回植田正治写真美術館フォトコンテスト 作品募集

- テーマ：自由。ただし山陰地方で撮影したものに限り。 ※山陰地方…鳥取県、島根県、京都府北部、兵庫県北部、山口県北部
- 部門：一般の部、18歳以下の部
- 応募期間：2021年7月17日(土)～9月23日(木・祝) ※当日必着
- 審査員：織作 峰子氏、川本 貢功氏、平間 至氏
- ※応募要項など詳しくは、ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 伯耆町立植田正治写真美術館  
TEL:0859-39-8000

- メール：bijiutsukan@houki-town.jp
- ホームページ：https://www.houki-town.jp/ueda/
- 開館時間／10:00～17:00 (最終入館は16:30)
- 休館日／火曜日 (祝日の場合は翌日) ※8月10日は開館
- 町民の方は入館無料です (免許証など住所の分かるものを提示してください)。

#### 町民無料招待券 — 本券を切り取ってご利用ください —

## ボクのスタジオ 植田正治の砂丘 見本

2021年 7月17日(土) — 11月29日(月)

※本券1枚で1世帯様無料でご覧いただけます。  
休館日：毎週火曜日 (祝日の場合は翌日) ※8月10日は開館

伯耆町立植田正治写真美術館  
伯耆町須村353-3 TEL:0859-39-8000